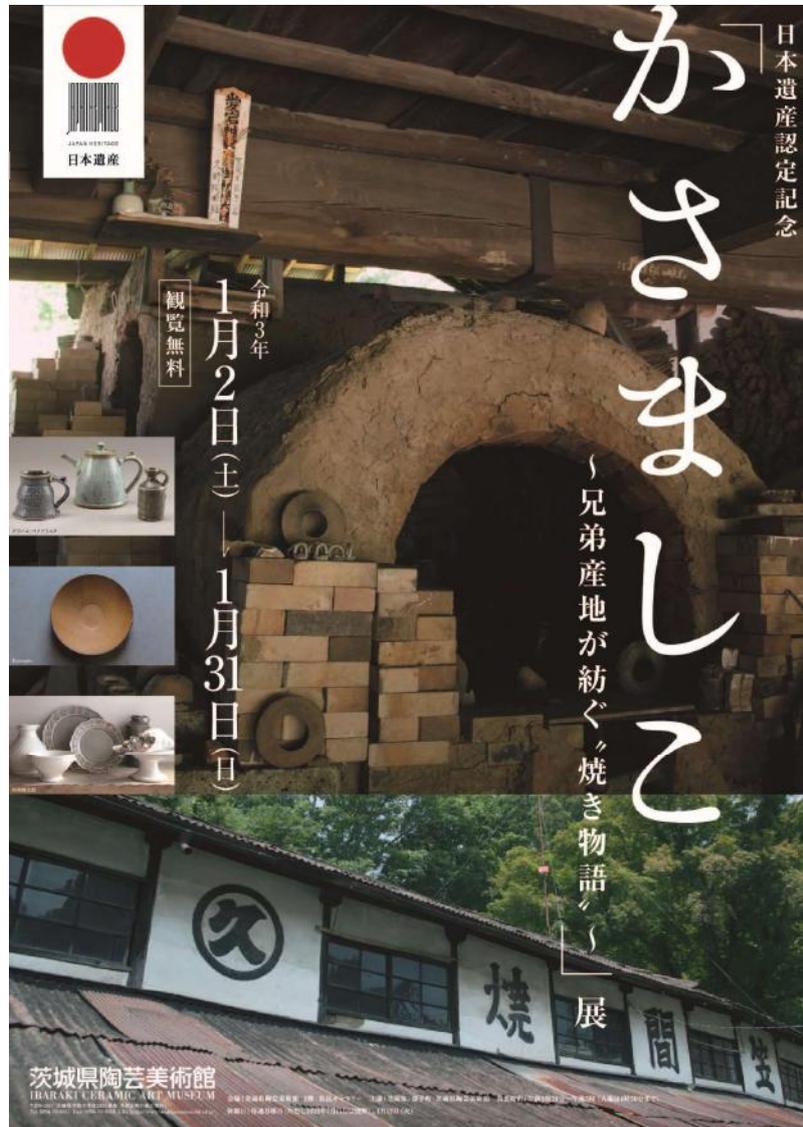


日本遺産認定記念

「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」展

プレス・リリース



笠間市・益子町

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

日本遺産認定記念「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」展

2 主催

笠間市・益子町・茨城県陶芸美術館

3 会期・会場

2021年1月2日（土）－1月31日（日） 26 日間 開催 茨城県陶芸美術館2階 県民ギャラリー

4 利用情報

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし1月11日は開館）、1月12日(火)

5 観覧料

無料

6 展覧会概要

日本遺産は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として文化庁が認定する制度です。ストーリーの構成要素となる地域の魅力ある有形・無形の文化財群を総合的に整備・活用し、国内外に発信することにより、地域の活性化を図ることを目的としており、2020（令和2）年までに合計104のストーリーが認定されました。

今年度、茨城県笠間市と栃木県益子町の二大窯業地が申請した「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」が日本遺産に認定されたことを記念して、笠間市・益子町・茨城県陶芸美術館の主催により県民ギャラリーでの展覧会を開催いたします。本展は、日本遺産や認定ストーリー等の内容を広報周知する機会とするとともに、認定地域の官民が協働し日本遺産を活用する地域活性化の取り組みを進めていくため、地元住民意識の高揚を図ることを目的とします。

展示は二部構成となり、第一部は笠間市・益子町によるパネル展示、第二部は笠間市と益子町を中心に現在活躍中の茨城県在住と栃木県在住の作家合計38人の陶芸作品展示を行い、伝統工芸、オブジェ、生活の器といった作品を通して笠間と益子の焼き物の多様な展開を紹介いたします。

広報文1（65文字）

笠間と益子の日本遺産認定を記念し、日本遺産についてパネルで紹介するとともに現在活躍中の茨城と栃木両県在住の作家の作品を紹介します。

広報文2（79文字）

笠間と益子の日本遺産認定を記念し、第一部では両地域の焼き物文化や日本遺産について、第二部では笠間と益子を中心に現在活躍中の茨城県と栃木県在住の作家の作品を紹介します。

広報文3（156文字）

笠間と益子の日本遺産認定を記念して、第一部では「かさましこ」のストーリーを笠間市・益子町によるパネル展示で紹介し、第二部では笠間市と益子町を中心に現在活躍中の茨城県在住と栃木県在住の作家合計38人の陶芸作品展示を行い、伝統工芸、オブジェ、生活の器といった作品を通して笠間と益子の焼き物の多様な展開を紹介いたします。

8 見どころ

- (1) 今年度日本遺産に認定された「かさましこ」のストーリーについてパネルでわかりやすく紹介。
- (2) 笠間と益子を中心に、現在活躍中の茨城県と栃木県在住作家の作品を紹介。
- (3) 伝統工芸、オブジェ、器といった作品を通して焼き物の多様な展開を紹介。
- (4) 日本陶芸展第23回から第25回までの3年間の大賞作品を一挙で紹介（受賞作家全員が茨城県在住）。

9 第二部出品作家（50音順）

茨城

阿部真太郎 飯沼耕市 伊藤公象 井上英基 井上雅之 大野佳典 グラハム・マクアリスト Keicondo
五味謙二 佐藤雅之 澤田勇人 島崎小乙里 鈴木麻起子 鈴木美汐 須藤訓史 滝沢三奈子 田崎太郎
寺本守 額賀章夫 根本峻吾 羽石修二 福野道隆 船串篤司 穂高隆児

(24名)

栃木

井口大輔 伊藤剛俊 岩下宗晶 宇佐美成治 齊藤ダイスケ 島田東秋 武田敏彦 竹之内太郎
 田代倫章 早川嘉 藤原彩人 我妻淳 若菜綾子 渡辺キエ

(14名)

10 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345 (笠間芸術の森公園内)

TEL : 0296-70-0011 FAX : 0296-70-0012

担当学芸員：学芸課 磯・飯田・芦刈

企画管理課 佐藤

広報担当： 企画管理課 柴崎 e-mail : kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

11 作品キャプション

① グラハム・マクアリスタ	塩釉マグカップ 2017年 塩釉ティーポット 2011年 ともに個人蔵 塩釉薬瓶 2018年 茨城県陶芸美術館蔵
② 我妻淳	青白磁輪花高台皿 2018年 青白磁酒器揃 2018年 ともに茨城県陶芸美術館蔵 写真協力：益子陶芸美術館
③ 須藤訓史	押点文鉢「渦」 2016年 茨城県陶芸美術館蔵
④ 早川嘉	茜織彩鉢 2018年 個人蔵
⑤ 五味謙二	shi-tou「シサ」 2019年 個人蔵 ©毎日新聞社
⑥ 藤原彩人	立像—雲は溶け、地に固まる— #B (部分) 2013年 個人蔵
⑦ Keicondo	テーブルウェア 2018年 個人蔵
⑧ 鈴木麻起子	Turkish 2016-2017年 茨城県陶芸美術館蔵
⑨ 鈴木美汐	ラウル シリーズ laur series 2017年 茨城県陶芸美術館蔵
⑩ 島崎小乙里	テーブルウェア 2016年 茨城県陶芸美術館蔵

※下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。
 使用の際には作品キャプションを併記してください。

12 出品作品画像



グラハム・マクアリスタ
 塩釉マグカップ 2017年 個人蔵
 塩釉ティーポット 2011年 個人蔵
 塩釉薬瓶 2018年 茨城県陶芸美術館蔵



我妻淳
 青白磁輪花高台皿 2018年 青白磁酒器揃 2018年
 ともに茨城県陶芸美術館蔵 写真協力：益子陶芸美術館



須藤訓史
 押点文鉢「渦」 2016年
 茨城県陶芸美術館蔵 写真協力：益子陶芸美術館



早川嘉
 茜織彩鉢 2018年
 個人蔵

⑤



五味謙二
Shi-tou 「シサ」 2019年
個人蔵
©毎日新聞社

⑥



藤原彩人
立像—雲は溶け、地に固まる—#B（部分） 2013年
個人蔵

出品作家参考作品（展示作品と異なることがあります）

⑦



Keicondo
テーブルウェア 2018年
個人蔵

⑧



鈴木麻起子
Turkish 2016-2017年
茨城県陶芸美術館蔵

⑨



鈴木美汐
Laur series 2017年
茨城県陶芸美術館蔵

⑩



島崎小乙里
テーブルウェア 2016年
茨城県陶芸美術館蔵